

事業所名

放課後等デイサービス ぽっけ

支援プログラム（参考様式）

作成日

7 年

3 月

15 日

法人（事業所）理念		個別支援計画を元に職員全員が同じ方向性で支援を行う 我が子を利用させたいと思える事業所を作る								
支援方針		個別課題、集団活動、外出・外食体験を通して様々な経験を積み、心身の成長を促し将来へ繋げる。 できることを増やし、自立へ繋げる。自分の事は自分やる。できない事があるときには誰にでも助けを求められるように一緒に考え、伝えられる手段を見つける。 就労に向け、指先を使った作業や集中して座っていられる時間を伸ばす。								
営業時間		9 時	30 分	から	18 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	生活リズムの安定・定期的な利用、計画時間での利用をし生活リズムを安定させる。健康状態の把握・検温、気分把握。休業日にはラジオ体操を行い、健康維持に繋げる。 身の回りの清潔を保つ・来所時には手洗い・うがいを行う。食後には歯磨きを行い、清潔にする事を習慣にする。衣服などの身だしなみを整える力をつける。 排泄トレーニング・時間誘導でトイレに行く。スポン等の上げ下げを自分で行う。トイレで排泄ができる事を旨とする。								
	運動・感覚	外遊び・近くの公園やコンビニまで歩いて行き、体力をつける。庭でボール遊びや水遊びをして自分の身体がどう動いているかを知り、運動能力の向上に繋げる。 室内活動・バランスストーンやトランポリン、スポンジハードル等を使用して体幹を強化し、バランス感覚を身に付ける。 姿勢の保持・個人に合った椅子を使用し、着席時の姿勢に気を付けながら個別課題や食事をする。								
	認知・行動	スケジュールの掲示・時間になったら部屋を移動し、食事をする。学習室へ移動し個別課題を行う。時折急な予定変更を取り入れ、適応する力をつける。 概念形成・個別課題によるひも通し、マッチング、なぞり書きなどをする事で数の概念、大きい小さい、色、空間の認知を習得する。 季節・季節の工作、読み聞かせや季節の歌などを通して季節を感じる。								
	言語 コミュニケーション	言葉に意味があることを知る・読み聞かせや様々な年齢の友達と関わり、場に合った言葉を使えるように促す。 発語を促す・自分の思っている事を言葉やジェスチャーなどで伝えられるよう、代弁などをしながら伝わる事の楽しさや嬉しさを知る。 他者に気持ちがあることを知る・余暇時間や小集団活動などを通して友達にも気持ちがあることを学び、コミュニケーション能力の向上に繋げる。								
	人間関係 社会性	外出、外食支援・近くのスーパーや飲食店へ行き、商品を探す、お金を払う、注文することを実際に経験しルールや社会性を学ぶ。 集団活動・様々な活動に参加し、順番やルールがあることを学び、理解する力をつける。 自分を知る・様々な経験を通して自分の事を知り、できる事に自信をつける。苦手な事は誰にでも助けが求められるよう見守りながら言える環境を作る。								
家族支援		・家庭での困り事に対する助言やサポート ・延長サービス ・家族の休息・リフレッシュ			移行支援		学校との情報共有、就労先への情報提供、関係機関機関との連携			
地域支援・地域連携		・近隣スーパーやコンビニで買い物 ・近くの飲食店で外食体験			職員の質の向上		・毎日のミーティング、定期的な全体会議 ・各種委員会の設置 ・外部による消防指導			
主な行事等		季節行事・花見、水遊び、秋祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会、年賀状作り、初詣、梅祭り、お別れ会 年に2回・避難訓練								